

社会デザイン科学専攻 境界・学際領域科目

英語 対応	科目名 (単位)	授業の概要
	地域社会デザイン学分析 展開論:実践を問い,現場 に還す (1単位) Designing Local Society	コミュニティデザイン学プログラムと農村・農業経済学プログラムが対象とする計2か所の現場に足を運び,それぞれの現場での実習を通じて,地域社会の現状と課題について理解を深めるとともに,現場の多様な実践を問い直し,現場に還して展開できる能力を養成する。
○	グローバル・エリアスタ ディーズ総合講義 (1単位) Comprehensive Global and Area Studies	グローバル・エリアスタディーズプログラムでの学修に必要な共通知識を養成し,国際的な事象を普遍的な視座と地域の固有性への深い知識に基づいて理解・分析・対処する能力を獲得するため,グローバル・エリアスタディーズプログラムの二つの領域(「グローバル・スタディーズ」と「エリア・スタディーズ」)を架橋し,本プログラムの体系的知識を身につけることを目的とする。授業では,本プログラムで用いられる多様な分析手法を複合的に用いることで可能となった研究成果を,研究論文や学会発表等の具体的な事例に基づき,解説する。特に,本プログラムの基礎となる,普遍的な視座に基づく国際的な事象の把握方法,数理分析の活用方法,国際開発援助の具体的方法,地域の固有性を析出する手法について,実際の研究事例に基づいて学習する。
	共生社会論 (1単位) Lecture on 'Society for all'	現代社会が直面する様々な課題を,共生社会構築の観点から検討し,対応していけるような人材を育成するために,歴史学,文学,教育学,言語学の分野での研究の基礎と文化,言語,思想,宗教,価値観,立場の異なる人々が共に生きる社会の形成について考察する。四分野より教員一人ずつが担当するオムニバス形式で実施する。
	地域人間発達支援の実際 と課題 (1単位) Literacy of Community & Human Development Promotion	地域の創造性と持続可能性を支えるのは人であり,その人を育てるのは地域の教育力である。しかしながら,地域力の低下,地域の人間関係の希薄化,少子高齢化により,多様な地域支援のあり方と人材育成の方法を模索していく必要がある。本プログラムは,地域支援に欠かせない人材を,人間の根源的な発達における諸課題をベースに,多様な教育的視点から育成することを目標にしている。本授業は,心理・教育学系,環境・身体・健康科学系,言語・表現系の3つの専門領域における学術的なトピックスをクロスオーバーさせながら,地域創造の諸課題と地域支援のあり方について理解を深めるための導入的講義・演習等を行う。

※この他、各プログラムごとに他プログラムや他専攻の科目をプログラム指定科目として設定しています。